

今まさに、生活道路で歩行者・自転車中心の「暮らしのみち」を安全にできる時代へ

近年、首都圏3環状道路をはじめとする高速道路等の整備が進展しています。その結果、自動車交通が安全性の高い道路へ転換し、高速道路の利用率が上がることで事故が削減しています。

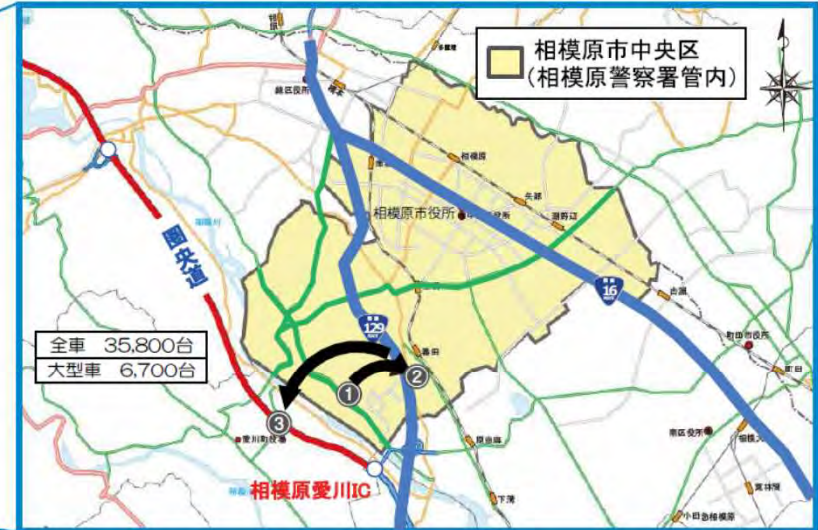
首都圏3環状道路の整備率

約3割(H16)⇒約7割(H26)

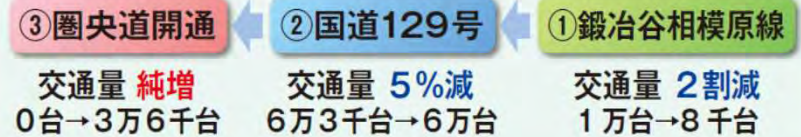


圏央道(相模原愛川IC~高尾山IC) (※8)

相模原愛川IC~高尾山IC (H26.6.26開通)



玉突き効果



相模原警察署管内(相模原市中央区)の事故件数(※9)
1割減 112件→102件(6ヶ月間の比較)